

# 甲斐市立敷島中学校 自己評価書（前期）

平成22年7月14日（水）作成

校長 西山 豊

記述者 職名（教頭）奥山 邦次

学校教育目標 「一人ひとりの個性を伸ばし、自ら学ぶ生徒の育成」

- ・課題意識を持つ「自ら学ぶ生徒」・・・知
- ・豊かな感性と思いやりのある「心豊かな生徒」・・・情
- ・何事にも全力をつくしてやり抜く「よく働く生徒」・・・意
- ・生命を尊重し、心身共に健康な「体を鍛える生徒」・・・体

学校経営方針 生徒一人ひとりの「生きる力の育成」へ向け

- ・学ぶ意欲を高める教育課程の編成
- ・個性を伸ばす教育の充実
- ・望ましい生き方を求める道徳教育の充実
- ・人権や福祉の尊重・英会話を切り口とする国際感覚に満ちた生徒の育成
- ・生涯学習社会にふさわしい地域に開かれた学校づくり

## 1 全体評価

本校の評価を総合的に観ると、全50の質問項目中すべての最頻度がAまたはBであり、Aの最頻度が24、Bの最頻度が26と高い肯定率を示しており学校教育が教育目標や経営方針に沿って円滑に展開されていることが見て取れる。

質問項目の内容によっても多少異なるが、B評価をA評価に上げるための一層の改善が必要である。

特に改善が必要な項目を挙げてみると

### ① 学校教育目標・学校経営について

- ・P→D→C→Aサイクルで教育活動を取り組み、それを生かした教育実践をおこなっているかの項目について改善の必要がある。

### ② 学校運営について

- ・危機管理についての認識、校務分掌、校内研修への関わりについて改善点が観られる。

### ③ 学習指導について

- ・学びの意欲を喚起する授業、質問や発言が出てくる授業、宿題や家庭学習に対する指導の項目に課題があり、生徒のアンケート結果にも影響が出ている。校内研の在り方とも関連づけて改善の必要性を感じる。

### ④ 生徒指導について

- ・生き方教育（キャリア教育・進路指導など）、生徒指導上の職員間の課題を共有した対応、特別支援校内委員会・不登校対策委員会の機能等について改善の必要がある。

### ⑤ 地域との連携について

- ・教育活動の情報発信について、PTA活動への参加等について改善の必要がある。

### ⑥ 学校の特色に関して

- ・肯定率は高いが、本校の特色である鍛錬・合唱活動のより有効な実施について考える。

<b>2 項目ごとの評価結果（達成状況・改善策）</b>	
<b>I 学校教育目標に関して・学校経営について</b>	
達成状況	<p>◎どの項目においても、高い肯定率を示している。</p> <p>△転入職員も多く、共通認識が不十分であったためか、項目5・6のP→D→C→Aサイクルを生かした教育活動の展開に課題が見て取れる。</p>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年主任に働きかけ、PDCAサイクルに基づいた学年の教育活動の展開を図っていく。</li> <li>・教職員評価とも関連付け、目標設定時と評価終了時の面談及び授業参観、日常の実践活動等において、PDCAサイクルの意識化を図り、各個人の目標や課題を明確にし、教育実践の向上を図る。</li> </ul>
<b>II 学校運営について</b>	
達成状況	<p>○どの項目も肯定率は高いものの、次の項目に改善が必要とされる。</p> <p>△危機管理マニュアルの理解にやや課題がある。</p> <p>△校内研究への主体的な関わりが、C評価（ややそう思わない）16.2%（6名）と多く課題がある。</p> <p>△各自が持つ校務分掌の学校運営上の機能と関わりについて課題がある。</p>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理マニュアル（事件・事故・防犯・防災等）の理解についてはポイントを絞り、防犯・防災の訓練時等に周知を図る。</li> <li>・今年度まで国の研究指定を受けている関係で校内研の内容もそれと連動しているのでテーマ設定が制約された面もあるが、来年度から何を研修することが一番効果的かを割り出し、研究すべきである。</li> <li>・校務分掌の見直しをして、授業時数や仕事量の平等性、適材適所等を考え、やる気を起こさせる分掌設定が必要である。</li> </ul>
<b>III 学習指導について（児童生徒用及び保護者用アンケート等も含めて）</b>	
達成状況	<p>◎オリジナル項目であるきめ細かな授業（T・T等）による学習意欲の高まり（A評価）や学習内容の定着に対する肯定率が昨年同期を上回っている。生徒も「先生はわかりやすく勉強を教えてくださいませんか」に対し、昨年度より高い肯定感を示している。</p> <p>△意欲を喚起する授業（本校93.9%、甲斐市全体95.7%）、質問や発言が出てくる授業（本校87.5%、昨年90.3%、甲斐市全体91.3%）に課題があり、生徒のアンケート結果にも影響が出ていることが窺える。（授業中に発言や発表をしますか。本校56.5%、昨年58.2%、甲斐市全体57.8%）</p> <p>△宿題や家庭学習に対する指導にC評価（5名）・D評価（そう思わない1名）と課題がある。（本校81.8%、昨年81.3%、甲斐市全体84.9%）</p> <p>（参照：生徒アンケート 10番，11番，12番）</p>

改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業で勝負」・「授業が第一」という意識をさらに高めるとともに、授業方法等の会話が常に聞こえる職場づくりを進める。</li> <li>・生徒の家庭学習の実態を把握し、改善へ向けた具体的な取り組みを行っていく。</li> <li>・校内研の研究テーマとして取り組む。</li> </ul>
<b>IV 生徒指導について</b>	
達成状況	<p>○学校が楽しい。困ったとき相談できる友達がいる。困っている人を助けている。など高い数値を示している。相談できる先生がいますかの項目はまだ数値が低い。 (参照：生徒アンケート1番, 3番, 4番, 9番)</p> <p>△生き方教育(キャリア教育・進路指導など)については、全体計画のもと体系的な指導が計画的にできるよう共通理解を深めていく必要がある。生徒のアンケートでも、「将来の夢や目標を持っていますか」の問いに77.0%(甲斐市全体76.8%)と低い数値を示している。</p> <p>△職員間で生徒指導上の課題を共有した対応が行われているかの項目については、本校86.1%, 昨年91.7%, 甲斐市全体89.4%と課題がみえる。</p> <p>△「特別支援校内委員会」(含. 不登校対策委員会)の機能に課題が見て取れる。</p>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生での夏休みの職場体験学習, 1年から卒業期を見据えた進路学習など, しっかり教育課程に位置づけたい。</li> <li>・生徒指導部会と学年とのつながり, 生徒指導主事を軸とした全校的な取り組み, 生徒の実態を把握したきめ細かな指導体制など, 体系的な組織の見直し, 指導内容の再確認など, みんなの意見を吸い上げながら構築していく必要がある。</li> <li>・通常学級における支援を必要とする生徒の洗い出しを行い(現在進行中), 共通理解のもと指導にあたっていく。また, 指導体制を不登校の自学教室の状況を見ながら整える。</li> </ul>
<b>V 地域との連携について</b>	
達成状況	<p>◎朝のあいさつ運動・鍛錬・有価物回収への協力や学級懇談会の開催などから, 保護者の学校教育へ対する協力は, 昨年同期を上回る高い肯定感(A評価)が窺われる。</p> <p>△地域人材や施設を活用するなど地域の教育力を生かした指導が現在のところは不十分である。</p> <p>△学校からの情報発信については, 不足していると答えた教師が多い。</p> <p>△教師のPTA活動への参加があまり積極的でない。</p> <p>△生徒アンケートの17番, 地域でのあいさつの数値が低い。</p>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の授業に講師として地域の方を招聘するなど, 計画していきたい。</li> <li>・学校だより, 学校ホームページ, 学年だより, 学級だより, 保健, 図書, 生徒指導, 給食だよりなど情報量を多くなるよう取り組む。</li> <li>・PTAの学校への協力を考えると, 教師も参加体制を整える必要がある。</li> <li>・生徒会によるあいさつ運動の取り組み。</li> </ul>
<b>VI 学校の特色に関して</b>	
	<p>◎授業参観や学級懇談会の定期的な開催, 朝の読書活動など各項目とも高い(A評価)肯定率を示し, 有益な活動が行われている。</p> <p>○合唱・鍛錬活動の肯定率は高いものの, さらに工夫した活動が期待される。</p>

### 3 まとめ

#### 〈成 果〉

- ・ 全体を通して、ほとんどの項目において高い肯定率のもと教育活動が進められている状況が窺えた。教職員の自己評価の集計結果から、P→D→C→Aサイクルで日常の教育実践を行うことの重要性、危機管理の意識化や校内研での研究の方向性など、それらの取り組みや努力の方向が自己評価において焦点化できた。
- ・ 教師の授業への姿勢が生徒の学習に影響している実態など再認識できた。今後これらの結果を踏まえて教育活動に生かしていきたい。

#### 〈課 題〉

- ・ 学習指導において、学習に向かう姿勢、宿題や家庭学習を含む学力向上の取り組みを、特別支援教育も含めて、具体的にどう活動を展開していくのか課題である。
- ・ 生徒指導の組織体系と情報の共有による対応、地域との連携など各分担において実践的方策を検討していきたい。